

神奈川県身体障害施設協会 卓上競技委員会
第44回神奈川県身体障害者施設対抗卓上競技大会

平成23年度 事業報告書

事業名称：神奈川県身体障害施設協会 第44回神奈川県身体障害者施設対抗卓上競技大会

目的：趣味を通して各施設利用者間の親睦を深めるとともに、施設相互の交流を図る。

後援：神奈川県、厚木市、神奈川県社会福祉協議会、厚木市社会福祉協議会
厚木市ボランティア連絡協議会、日本福祉囲碁協会

事業内容：

1. 日時：平成24年2月4日（土）9：30～15：30
2. 会場：神奈川県総合リハビリテーションセンター体育館 厚木市七沢516 046-249-2480
3. 参加施設：24施設（神奈川ワークショップ、足柄療護園、湘南希望の郷、丹沢レジデンシャルホーム、秦野ワークセンター、アガペ壺番館、シャローム浦上台、水平線、れいんぼう川崎、よこはまりバーサイド泉、七沢更生ライトホーム、さがみ緑風園、太陽の門デイサービスセンター、ソーレ平塚、ソーレ平塚ケアセンター、リエゾン笠間、すこやか園、横浜技術センター、ノーマヴィラージュ聖風苑、上九沢デイサービスセンター、横浜らいず、貴峯荘、貴峯荘湘南の丘、海老名市立わかばケアセンター）
4. 選手数：136名
5. 競技種目：囲碁、連珠、将棋、挟み将棋、オセロ、ダブルスオセロ
6. 参加者、見学者総数：274名
7. 参加費：選手1人につき1,000円
8. 参加記念品：タオル作品（貴峯荘湘南の岡） ￥450
箸入れ（ノーマヴィラージュ聖風園いけがみ） ￥30
紙漉きはがき（よこはまりバーサイド泉） ￥20
合計 ￥500 165セット

9. 表彰：

個人の部…優勝、準優勝、第3位、敢闘賞を上記の競技種目について賞状、トロフィー
記念の盾を授与

団体の部…優勝、準優勝、第3位。各施設の勝ち点の獲得数について賞状、トロフィーの
授与

審判員特別賞…各施設の選手及び施設紹介ポスター最優秀賞として1施設に紅茶の詰め合わせ。

10. 運営ボランティア：競技審判として日本福祉囲碁協会、厚木シニア将棋クラブ。賞状書きとして若草書道会の方々にご協力頂いた。

11. 事業結果：

- ・ 卓上競技大会に参加するために新規に協議会に入会されたところがあった。
- ・ 寒波降雪懸念で開催を危ぶむ声があったものの好天に恵まれ、熱気のうちに終了した。
- ・ 審判員用の黄色いベストを10着追加用意した。

- ・ 囲碁における敗者戦のトーナメント組みで審判団と実施要綱の規則がぶつかりそうになるが、「強い人が勝つ」との予想通りの結果、杞憂に終わった。
- ・ 各施設紹介のポスターには趣向を凝したものが増え、立体的な図柄は試合の終わった参加者や付き添い職員目を引いた。
- ・ 会場設営前把握担当を置いたことで、混乱なくスムーズに運んだ。

1 2. 次年度への課題・反省点

- ・ 今回は体育館のご好意により喫煙所として中庭を開放して頂き、前回のタバコマナーの悪さは見られなかったが、場所案内の→などがなかったのでわかりにくかった。
- ・ 総合結果報告が準備されておらず、当日慌てて容易する必要があった。合わせて、個別対戦結果票を準備しておいたほうがよい。
- ・ 開催中、二人ほど気分が悪くなる人が出て、救護の出番があったのと試合を放棄せざるを得ない人が出るのは残念。空気の換気など事前に体育館側に依頼した方がよい。
- ・ 競技前の審判への説明時間が30分くらいあったほうがよい。
- ・ 審判員さんで途中から帰られる方が複数おり、競技の継続に困った。次回から、時間内はいてもらえるように周知徹底する。
- ・ 各施設からの審判員派遣がかなりきつくなっているため、外部の学生や社協からボランティア派遣を頼んだほうがよい。審判はいないために利用者が参加できないのはおかしい。
- ・ 同じ山で二人休んだりして、2試合以上の試合数差が出たところがある。欠席は当日わかることではあるが、トーナメント組み換えに配慮が必要である。
- ・ ベッド休憩室を使おうと思っていってみると、発作を起こした人が占有していて使えなかった。ベッドは複数用意する必要がある。
- ・ 先に位置取りした参加者の関係で、後から来た参加者の車椅子がすんなり納まらない方がおり、審判員さんに声掛け・配慮をお願いしたい。
- ・ 囲碁の敗者復活戦で、トーナメントの組みなおしの混乱があった。事前に念押しの確認が必要。
- ・ 昼食開始時間が徹底されなかったために、テーブルの争奪戦の観があった。時間の厳守と施設ごとの割り当てを決めておく。
- ・ 優勝カップや楯を置くとき、テーブルクロス風の布があった方が見栄えがする。
- ・ 呼び出しの音量が低く聞きづらかった。
- ・ 2月開催だとインフルエンザの影響を受けやすい。他の月で出来ないか。身障協で調整できないか。
- ・ 車の乗り降り入り口前の駐車場に止めた車があり、待たされる車が多かった。入り口前の駐車へ厳禁にしたい。
- ・ プラカードが足りない。使わない方法を模索したい。
- ・ 初回の実行委員でも当日の動きがイメージできるように情報が欲しい。
- ・ 選手の名前が付けてもらったのはよかった。
- ・ オセロの駒が足りないのがあった。事前にチェックしたい。
- ・ 施設名の間違いを訂正されずに放送されたのは残念である。
- ・ 神奈川県補助金がなくなることへ対応するため、径削減のためのアンケートを行う。

- ・ 次回から事前把握担当は受付をかねる

委員会実施日：

第1回卓上競技委員会	平成23年	7月	6日(水)	県社会福祉会館
第2回卓上競技委員会	平成23年	10月	6日(木)	県社会福祉会館
第3回卓上競技委員会	平成24年	1月	12日(木)	七沢更生ライトホーム
第4回卓上競技委員会	平成24年	2月	3日(金)	七沢更生ライトホーム
第5回卓上競技委員会	平成24年	3月	15日(木)	リエゾン笠間

平成24年3月20日
身障協卓上競技委員会
委員長 原田 眞司
事務局 西村 達幸

第44回神奈川県身体障害者施設対抗卓上競技大会成績表

(個人の部)

	優勝	準優勝	3位	敢闘賞
囲碁	中川 正昭 シャローム浦上台	二木 英幸 湘南希望の郷	山田 力雄 足柄療護園	湯川 みさと 秦野ワークセンター
連珠	郡司 和徳 丹沢レジデンスィナルホーム	宇山 和久 ソーレ平塚ケアセンター	石塚 正行 上九沢デイサービスセンター	森川 文司 シャローム浦上台
将棋	猪俣 留吉 湘南希望の郷	三川 慶一 丹沢レジデンスィナルホーム	神長 孝 湘南希望の郷	樽角 好昭 太陽の門デイサービスセンター
はさみ将棋	平松 肇 神奈川ワークショップ	佐藤 一明 アガパ荳番館	君島 喜代蔵 太陽の門デイサービスセンター	木村 悦子 リエゾン笠間
オセロ	広瀬 利浩 神奈川ワークショップ	国又 孝次 横浜技術センター	小笠原 忠男 シャローム浦上台	寿岡 宏子 リエゾン笠間
Wオセロ	南 恭一 山口 舞子 よこはまりバーサイド泉	高橋 伸 山崎 進 湘南希望の郷	田尾 信子 原 安二郎 アガパ荳番館	鈴木 真美 堤 篤弘 シャローム浦上台

(団体の部)

	施設名
優勝	湘南希望の郷
準優勝	神奈川ワークショップ
3位	シャローム浦上台

(審判員特別賞)

最優秀施設紹介ポスター	すこやか園
-------------	-------

第44回神奈川県身体障害者施設対抗卓上競技決算

収入の部

項目	決算額	摘要
大会参加費	136,000	1,000円×136名
助成金	90,000	神奈川県
助成金	30,000	神奈川県社会福祉協議会
助成金	32,384	身体障害施設協会
繰越金	7,616	昨年度までの繰り越し
合計	296,000	

支出の部

項目	決算額	摘要
入賞賞品代	50,709	楯、賞状、筒代、カップ入れ箱、審判員特別賞(紅茶)
参加賞	82,500	500円×165(参加者、ボランティア)
プログラム代	59,325	トーナメント表印刷含む
ボラ昼食代	6,972	498円×14
委員昼食代	14,442	498円×29(音響、救護含む)
お茶代	3,264	68円×48個
通信費	5,000	プログラム発送代および申請書・依頼状切手代
審判員ベスト	22,600	2260円×10着(黄色審判員用)
雑費	3,745	文具、事務消耗品、振込手数料等
次年度事業繰越	47,443	
合計	296,000	

原本と相違ないことを証明します

平成24年3月2日

神奈川県身体障害施設協会
会長 松永 徹